

授業科目名称： 薬局管理・経営学（実践的教育科目） 授業コード： 24020

授業科目英文名称： Management and Business for Pharmacy

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4	1.5	必修
担当教員			
大久保 伸哉（実務経験のある教員）・※作元 誠司			
展開方法	講義		
ナンバリング	N4F409		
添付ファイル			

ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標	評価手段・方法	評価比率
専門力	・ 薬剤師の活動分野と社会における役割ならびに薬剤師が守るべき倫理規範や法令について説明できる。 ・ 薬局開設に必要な基礎知識、関連法規、施設基準や地域薬局として必要な医薬品や人材の管理について説明できる。 ・ 薬局経営に必要な基礎知識および医療費の適正化に薬局が果たす役割について説明できる。 ・ 地域保健における薬剤師の役割と代表的な活動について説明できる。 ・ 在宅医療及び居宅介護における薬局と薬剤師の役割について説明できる。 ・ 災害時医療および災害時の薬局の役割について説明できる。 ・ 一般用医薬品のリスク分類（第一類、第二類、第三類）について理解し、適切に取り扱うことができる。 ・ 地域における疾病予防、健康維持増進、セルフメディケーションのために薬剤師が果たす役割を概説できる。 ・ 地域の保健、医療、福祉において利用可能な社会資源について説明できる。	小テスト	80%
情報収集、分析力	・ 一般用医薬品の選択や受診勧奨の要否を判断するために必要な患者情報を収集し、論理的に思考・判断することができる。	小テスト	5%
コミュニケーション力	・ 薬の専門家として信頼される薬剤師になるために有用なコミュニケーションスキルについて説明できる。	課題レポート	5%
協働・課題解決力	・ 公衆衛生に求められる具体的な感染防止対策を提案できる。	小テスト	5%
多様性理解力	・ 薬剤師が倫理規範や法令を遵守することの重要性を理解し、薬局薬剤師と病院薬剤師に求められる役割や能力の違いについて説明できる。	課題レポート	5%
出席		受験要件	
合計		100%	

授業のねらい	薬の専門家としての薬剤師に対する社会の医療ニーズは、年々高度化・複雑化している。本授業は薬局薬剤師として、このニーズに対応できる能力を修得することを目標とする。基本的な薬局薬剤師の業務について学び、保険薬局に求められる役割や地域における保健、医療、福祉の連携の重要性を理解し、地域医療に参画できる機能を備えた薬局として必要な医薬品や人材の管理および薬局経営に必要な基本的知識、技能、態度を修得する。					
アクティブラーニングの類型	②、③、⑨、⑩					
評価基準及び評価手段・方法の補足説明	・ 本授業は第1回の講義を本学教員が、第2～15回の講義を3人の外部講師が交代で担当する（授業計画参照）。各外部講師は連続で3～4回講義を行い、講師が交代するタイミングで小テストを実施する。そのため、本授業では合計3回の小テストが実施される。なお、本学教員は課題レポートを出題する。これらを踏まえて本授業では、小テストの成績を90%（30%×3回）、課題レポートの成績を10%として評価する。 ・ 小テストは、各講師による講義内容を出題範囲とし冒頭30分程度で実施する。その後残り時間を用いて、小テストの内容について各講師が解説を行うことでフィードバックする。 ・ 課題レポートは、ポートフォリオに提出されたものについて、自分なりの視点をもって論理的に書かれているかを評価する。評価点は、ポートフォリオ上で開示する。					
授業概要	薬局管理の実務経験を有する教員が、パワーポイントやプリント等の配布資料を用いて講義形式で行う。授業中に配布する資料は、パワーポイントの内容とその他必要な資料であるが、法令の改訂や医療情勢の変化に伴って、その時点での最新の情報を配布する。この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、112.5分とする。					
教科書・参考書・指定図書	教科書：指定しない 参考書：実務実習事前学習テキストブック（京都廣川書店） 指定図書：日本薬剤師会編 薬局実務実習指導の手引き2018年版（薬事日報社）					
授業外における学修及び学生に期待すること	薬局薬剤師に対する地域社会のニーズは年々増加しており、内容も変化、高度化している。また法令等も頻繁に改訂がなされる。これらに対応するために、日頃から関連するニュース等に関心を持ち情報の収集に努めモチベーション高く本授業を受講してくれることを期待する。					
授業計画	回	テーマ	授業の内容	予習・復習	到達目標番号	担当教員

1	薬剤師が果たすべき役割①	薬剤師の活動分野（医療機関、薬局、製薬企業、衛生行政等）と社会における役割について	病院薬剤師と薬局薬剤師の違いについて考察する	9、928	大久保伸哉
2	薬局開設	薬局開設に必要な基礎知識、関連法規、施設基準について	薬局を開設する際の注意点について調べる	71	作元誠司（非常勤講師・実務家）
3	薬局管理	薬局における医薬品および人材の管理	管理方法に注意が必要な医薬品としてどのようなものがあるか考察する	9、71、739	作元誠司（非常勤講師・実務家）
4	薬局経営	薬局経営について	薬局を経営する際に重要になりそうなポイント等について調べる	9、71、111	作元誠司（非常勤講師・実務家）
5	地域における薬局の役割①	医療費の適正化に薬局が果たす役割について、調剤報酬（調剤基本料等）について	医療費の適正化に薬局が果たす役割について考察する	111	作元誠司（非常勤講師・実務家）
6	小テスト①	第2回～第5回の講義内容に関する小テスト	第2回～第5回の配布資料の確認		作元誠司（非常勤講師・実務家）
7	薬剤師の倫理観	薬剤師が守るべき倫理規範や法令について	薬剤師の倫理観について考察する	9、71	後藤かおり（ゲストスピーカー・実務家）
8	地域における保健、医療、福祉の連携①	在宅医療と薬剤師その1（薬剤師の役割や関連法規・報酬について）	在宅医療における薬剤師の役割について考察する	113	後藤かおり（ゲストスピーカー・実務家）
9	地域における保健、医療、福祉の連携②	在宅医療と薬剤師その2（在宅訪問の実際の事例、その効果や課題等について）	在宅医療における薬剤師の役割について考察する	111、113	後藤かおり（ゲストスピーカー・実務家）
10	地域保健への参画	地域保健における薬剤師の役割と代表的な活動、具体的な感染防止対策、災害時医療について	学校薬剤師、薬物乱用防止、自殺防止、アンチドーピング活動等について調べる	110、1045、1046、1058	後藤かおり（ゲストスピーカー・実務家）
11	小テスト②	第7回～第10回の講義内容に関する小テスト	第7回～第10回の配布資料の確認		後藤かおり（ゲストスピーカー・実務家）
12	地域における薬局の役割②	一般用医薬品・セルフメディケーションその1（薬剤師の役割や基礎知識について）	一般用医薬品の分類やセルフメディケーションについて調べる	739、740、742、743	國松聡（ゲストスピーカー・実務家）
13	地域における薬局の役割③	一般用医薬品・セルフメディケーションその2（実際の事例やその後のフォロー等について）	セルフメディケーションにおける薬剤師の役割について考察する	739、740、742、743	國松聡（ゲストスピーカー・実務家）
14	地域における薬局と薬剤師	地域の保健、医療、福祉における社会資源について 疾病予防、健康維持増進、かかりつけ薬局・薬剤師について	かかりつけ薬局・薬剤師について調べる	115	國松聡（ゲストスピーカー・実務家）
15	小テスト③	第12回～第14回の講義内容に関する小テスト	第12回～第14回の配布資料の確認		國松聡（ゲストスピーカー・実務家）
	★注意事項	上記の第1回～第15回は、授業の概要を示したもので、講義の順番は変更される場合があります。 ※到達目標番号と到達目標の対応は、大学HP掲載のコアカリSB0番号／項目対応表を参照してください。			